

JESSICA BARKER

Leading expert on cyber security

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Jessica Barker 博士は、サイバーセキュリティの人的性質のリーダーです。サイバーセキュリティコンサルタント会社Cygenta Ltd.の共同創設者であり、多国籍企業から中小企業まで、あらゆる規模の組織に携わっています。彼女の作品は、特にサイバーセキュリティの脅威、ソーシャルエンジニアリング、サイバーセキュリティメッセージの効果的な伝達方法、恐怖心とサイバーセキュリティの心理学、そしてサイバーセキュリティの言葉に関して、サイバーセキュリティの心理学と社会学を取り巻いています。ジェシカは最近、ロンドンのCommonwealth Cyber Security Forum ロンドンでのFinancial Services Summit 2016 ハーグでのGSMA Mobile 360 イベントでパネルの議長を務めました。

Topics

- Cyber Security
- Cybersecurity
- Future
- Risk
- Technology
- Women

マスタークラスの概要

私たちは、情報が非常に貴重なものとなり、サイバー攻撃やデータ侵害を経験していることが組織の収益に影響を与える知識経済に住んでいます。サイバー脅威の全体像は、悪意のある脅威とそれ以外の脅威から構成されています。これらは、内部と外部の両方の脅威です。悪意のある攻撃の動機はさまざまです - 組織の業界、および組織が作成、受信、共有、保存するデータに応じて、さまざまな攻撃者や方法の標的になります。サイバーセキュリティは、人、プロセス、情報、およびテクノロジーに関するものであり、それ自体がITの問題ではなくビジネス上の問題です。効果的なビジネスリーダーは、サイバーセキュリティが彼らやその組織にとって何を意味するのかを理解する必要があります。

価値と期待される成果

- サイバーセキュリティの全体的な性質、および組織内ですべての要素（人、プロセス、情報、およびテクノロジー）がどのように管理されているのが最も適切か
- 個々の組織が直面している特定の脅威を評価する方法、およびリスクを軽減するためにリスク評価および管理フレームワークを使用する方法についての認識
- 組織がサイバー攻撃またはデータ侵害を受けたときに何が起り、最も効果的な方法で対応するかを調査するための、インシデント対応シナリオの実習

何がカバーされていますか？

ジェシカは、実際のケーススタディを使用して次のことに取り組みます。

- 組織が直面する最新の脅威を含む、サイバーセキュリティの脅威の展望
- インシデント管理およびサイバー危機発生時およびその後の事業継続を保護するために組織がどのように整備すべきかについての実践的なアドバイス
- このセッションでは、現代の理事会メンバーに求められるサイバーセキュリティについての理解を視聴者に提供するために、サイバーセキュ

リティの技術的性質を説明します。

- アプローチに応じて、サイバーセキュリティの本質的に人間的な要素と、組織の最も弱い部分であるか、最初の防衛線であるかの範囲の調査
- 組織のリーダーの育成と管理
- 組織のサイバーセキュリティ問題の管理と軽減における上級ビジネスリーダーの役割と責任